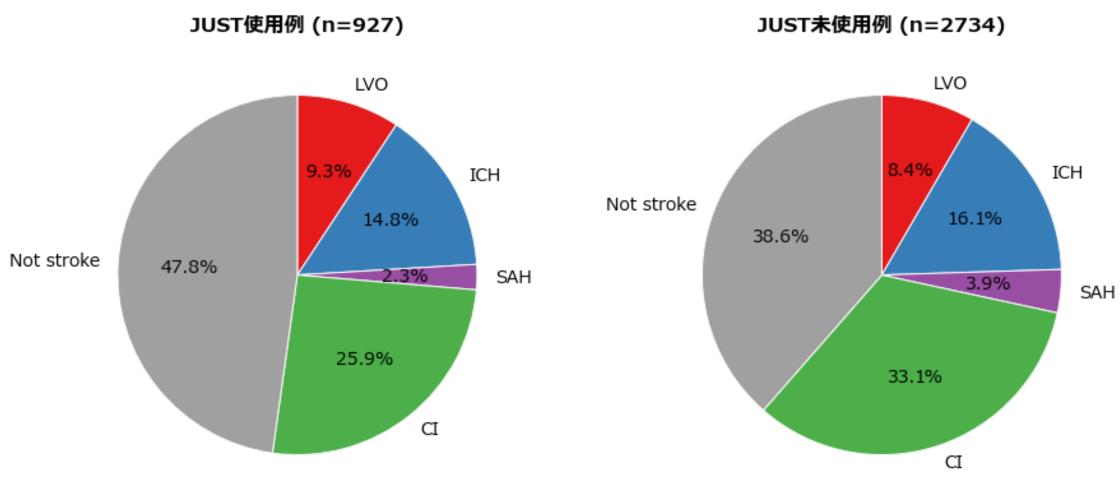
2024年度全症例の内訳

病型分類の割合比較(JUST使用 vs 未使用)



LVO症例が全体で315症例

2024年度全症例での搬送実情

JUST使用全症例 JUST未使用全症例

n = 927

n = 2734

救急隊交渉回数1回, n (%)

580 (57.2)

2074 (75.8)

< 0.01

現場滞在時間, mean [IQR]

22 [17 - 30]

17 [13 - 24]

< 0.01

JUST使用症例の方が交渉回数も多く現場滞在時間も長い

LVO症例での実情

JUST使用LVO症例 JUST未使用LVO症例 n = 86 n = 229

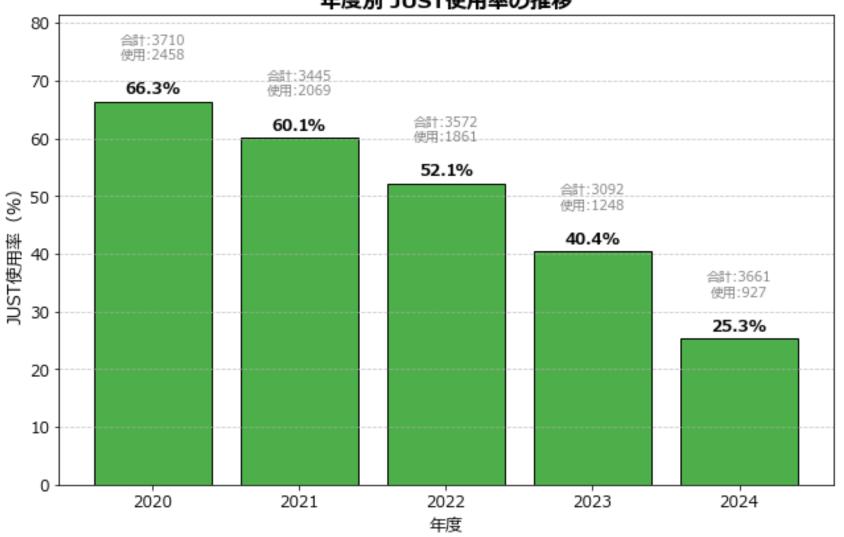
現場滞在時間, mean [IQR] 19 [15 - 25] 17 [14 - 23] 0.14

Door to Puncture, mean [IQR] 63 [55 - 84] 71 [57-97] 0.32

LVO症例ではJUST使用症例の方が現場滞在時間は長いが Door to PunctureはJUST使用症例の方が短い

年度別JUST使用率

年度別 JUST使用率の推移



JUST使用率が経時的に減少している

(参考資料) 2018 - 2023年 LVO症例

	JUST使用症例 n = 461	JUST未使用症例 n = 299	p value
D2P, median [IQR]	69 [55 - 92]	79 [58 - 110]	< 0.01

	JUST使用症例 JUST未使用症例 n = 755		Odds Ratio	95%信頼区間		p value
	n (%)	n (%)		下限	上限	
mRS 0-2	251 (33)	147 (27)	1.48	1.16	1.90	< 0.01
mRS 0-3	339 (45)	221 (40)	1.34	1.07	1.69	0.01

JUST使用症例でD2Pが短縮され転帰も良好

JUST広島LVOレジストリー

対象期間:2018年度~2023年度

使用データ:

救急隊が現場で脳卒中を疑いLVOと診断された症例 救急隊が脳卒中を疑わなかったが実際にはLVOであった症例

これらを包含することで、広島市内の全LVO症例を網羅

堀江先生を中心に、これらのデータを基盤としたレジストリーを開始

今後のデータ提供スケジュール

最新データは荒木先生より各施設へ提供を予定 予定時期:2025年10月31日頃